

核融合エネルギーフォーラム会員各位

令和元年 11 月 1 日

社会連携クラスター

広報サブクラスター

南 貴司 (京都大学)

江尻 晶 (東京大学)

実用化戦略クラスター

核融合炉実用化若手検討会・幹事団

後藤 拓也 (核融合研)

伊庭野健造 (大阪大学)

宇藤 裕康 (量 研)

新屋 貴浩 (量 研)

藤岡 慎介 (大阪大学)

近藤正聡(東京工業大学)

広報サブクラスターと核融合炉実用化若手検討会の合同会合

「産業界と若者の意見交換会」のご案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただきありがとうございます。

下記の趣旨で、「ITER/BA 成果報告会 2019」にあわせて「産業界と若者の意見交換会」を開催しますので、ご案内申し上げます。

#### 記

ITER から原型炉、さらには実用炉へと続く核融合エネルギー開発は、まさに世代を越えた長期の研究開発プロジェクトであることからそれを成功に導くためには優秀な人材の不断の育成が不可避であり、かつ広範な分野の最先端技術を結集させる必要があるプロジェクトであることから産業界における革新的な技術開発が不可欠です。若者は産業界にどのような魅力を感じ、何を求めているのか、一方、産業界は技術開発や技術継承の視点から若者に何を伝えようとしているのか。こうしたことを背景に、今後、直接・間接的に核融合エネルギー開発に携わろうとする大学生・大学院生などの若者が、核融合の技術基盤を支えている産業界の方々と直接顔を合わせて、交流・意見交換する場を提供したいと思います。

既にご案内しました、令和元年 12 月 19 日（木）に東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール（東京都文京区本郷 7-3-1）で開催する「ITER/BA 成果報告会 2019」において、産業界や研究機関他による ITER 計画と BA 活動に関連する機器やパネルの展示の中で、産業界と若者との意見交換の場を設けます。

当日会場でブース展示を行う関連企業（注 1）に対して、出席した大学生・大学院生によるアンケート調査・面談を行い、交流・相互理解を深めます。その上で、大学生・大学院生の皆様に調査結果を報告書として提出いただき、若者の考え方、問題意識を集計して、今後に向けた産業界との連携強化の可能性を探ります。

上記趣旨にご理解をいただき、参加を希望される核融合エネルギーフォーラム会員（注 2）の大学生・大学院生の皆様は、申込書に必要事項をご記入の上、締切日までに下記連絡先へお送りください。参加申込をされた皆様には、担当より詳しいご案内を直接差し上げます。

また、お近くにこの意見交換会参加の対象となる若手がいらっしゃる会員の方々は、ぜひ参加をお誘いいただきますよう、併せてお願い申し上げます。

○申込先・連絡先：

土屋隼人（核融合研） email: wakate\_iken\_koukan2019@nifs.ac.jp

○参加申込締切：

令和元年 11 月 22 日（金）（期限厳守）

以下、ご留意下さい。

○ 本会合の議事内容、録音、録画並びに発表資料等の公開はご遠慮下さい。

（講演者他の同意を得た会合報告や発表資料等を核融合エネルギーフォーラムの上記ホームページに掲載しますのでご覧下さい。）

○ 参加希望者には事前に参加要領や必要な手続きについて連絡します。

集合時刻は 11:30 頃、解散時刻は 18:00 頃を予定しています。

○ 意見交換会中のインタビュー風景や集合写真等を撮影させて頂き、開催報告として

WEB やリーフレット等へ掲載をさせて頂く可能性がありますのでご了承ください。

○ 留学生の方にもご参加いただけますが、その際にはご友人や同じ研究室の方による補助をお願いしております。

下記に記入の上、( [wakate\\_iken\\_koukan2019@nifs.ac.jp](mailto:wakate_iken_koukan2019@nifs.ac.jp) ) までメールで申し込み願います。

----- 参加申込書 -----

核融合エネルギーフォーラム「ITER/BA 成果報告会 2019」

及び

「産業界と若者の意見交換会」

- 1) 氏 名：
- 2) 会員番号：（未入会の方は Web からオンラインで手続き願います(注2)）
- 3) 所 属：（大学・学部学科名、大学院専攻・所属研究室名）
- 4) 連 絡 先：（住所、電話）
- 5) メールアドレス：
- 6) 希望・意見等：

-----

(注1) 昨年度は下記の核融合技術関連企業にインタビューをしました（順不同）。

株式会社アムテックス、株式会社アライドマテリアル、株式会社アルゴグラフィックス、株式会社安藤・間／極東産業株式会社、株式会社化研、キヤノン電子管デバイス株式会社、京セラ株式会社、金属技研株式会社、ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー株式会社、ゼネラルエンジニアリング株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、株式会社トヤマ、株式会社 NITE、日本インターグラフ株式会社、株式会社日立製作所、宝栄工業株式会社、三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社、大和合金株式会社

昨年度のインタビューの様子は

<http://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy->

[forum/member/meeting/info/2018/20181214wakate.html](http://www.fusion.qst.go.jp/forum/member/meeting/info/2018/20181214wakate.html)

をご参照ください。

(注2)「産業界と若者の意見交換会」への参加には核融合エネルギーフォーラム会員であることが必要です。核融合エネルギーフォーラムへの入会は、

<http://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>

にアクセスし、右側にあるサイドメニュー「入会のご案内」をご覧ください。年会費及び入会費は不要です。時間の節約のために本会合参加申し込みとフォーラム入会手続きは同時並行で進めてくださって結構です。その場合は、会合参加申込書に「手続き中」とご記入下さい。